

アグリコンシェルジュ導入事例

国立大学法人 京都大学 様

遠隔からリアルタイムに実証研究のデータを取得
ゼロエネルギーファーム達成のための条件を評価

京都大学様では、光透過型有機薄膜太陽電池(以下、「OPV」という。)を用い施設園芸におけるCO₂排出削減技術の開発研究を行っています。

附属農場のプロジェクト園芸施設にOPVを設置してトマト栽培を行い、作物の生産と発電を同時に行う農電併産システムと、CO₂排出削減の実証研究において、計測器/データロガー/パソコンのデータ収集および見える化にアグリコンシェルジュをご活用いただいています。

なお、このシステムは環境省委託事業「平成28年度CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」で京都大学様が導入されたものです。



京都大学農学研究科附属農場様



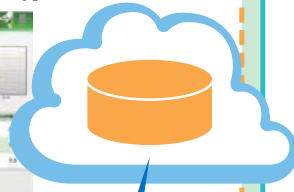
OPVの設置温室

クラウドサービス アグリコンシェルジュ

京都大学 様



アグリコンシェルジュのポータル画面



データ収集装置



対照温室

OPV温室



グラフテック

日射・光量子・
温度・温湿度

温室環境



メイワフォーシス

光量子
センサー

温室環境



相馬光学

太陽光
分光放射計

温室環境



日本オペレータ

室内環境制御センサー
室外気象センサー

複合環境制御



Panasonic

電力計測
ユニット

消費電力